

統計調査員だより

編集・発行
福島市杉妻町2番16号
福島県企画調整部
次長 石川 靖

福島県の人口
令和5年12月1日現在
1,763,662人

「統計は
未来を支える
おくりもの」

令和5年度「統計の日」標語
小学生の部 特選作品

令和五年度 福島県統計功労者表彰式

福島市において開催

令和五年十一月十六日、福島県自治会館において、令和五年度福島県統計功労者表彰式が開催されました。統計関係者二十一名に出席いただきました。

はじめに、鈴木正晃副知事から「栄えある表彰を受けられる皆様、誠におめでとうございます。皆様には、長年にわたり、統計調査事業を支えていただき、統計の発展と普及啓発に多大な貢献を賜りました。これまでの御努力と御労苦に深く敬意と感謝の意を表します。県といたしましては、統計調査が円滑に実施できる環境づくりに取り組むと

ともに、誰もが利用しやすい統計情報の提供に努めてまいりますので、皆様におかれましては、引き続き、統計調査事業の推進に御協力を賜りますようお願い申し上げます。」との挨拶がありました。

続いて、国や県が実施した統計調査に長年にわたり従事し、顕著な功績をあげられた方々に対して統計功労者表彰が行われました。はじめに、福島県知事表彰の受賞者に、表彰状が授与されました。次に、総務大臣表彰、厚生労働大臣表彰及び厚生労働省政策統括官表彰の受賞



祝辞を述べる 本田 朝治
福島県統計調査員協議会連合会長



祝辞を述べる 佐藤 政隆
福島県議会副議長



挨拶をする
鈴木 正晃 副知事



総務大臣表彰を受賞する
宮川 朋子さん

者に表彰状の伝達が行われ、その後、福島県統計協協会名誉会長表彰の表彰状が各地域の代表受賞者に授与されました。表彰後、御来賓の方々を代表して、福島県議会議長代理の佐藤政隆福島県議会議長と本田朝治福島県統計調査員協議会連合会長から祝辞をいただきました。



各表彰を受賞された皆さん

最後に、受賞者を代表して大熊町の田澤憲郎様から、「私たちは、統計調査の役割や重要性を認識し、常に精度の高い統計資料を提供するため、日々努力してまいりました。私たち受賞者一同は、今回の栄誉を励みとし、決意を新たに、これからの統計の発展、統計の普及啓発のため、引き続き精進して参ります。」との謝辞があり、表彰式は、厳かな雰囲気うちに終了しました。

統計功労者表彰(敬称略)

福島県知事表彰

〈統計調査員〉

福島市 山田 誠

郡山市 渡部 京子

大熊町 齋藤 淳宏

いわき市 田澤 憲郎

高木美代子

総務大臣表彰

〈統計調査員〉

福島市 齋藤 和美

労働力調査

福島市 宮川 朋子

小売物価統計調査

川俣町 五十嵐 結

令和四年就業構造基本調査

郡山市 高橋 一郎

各種統計調査

白河市 和知 仁

厚生労働大臣表彰

〈統計調査員〉

福島市 阿部 栄子

郡山市 齋藤 典枝

〈調査事業所〉

福島市 福島ダイハツ販売

会津若松市 株式会社

東洋ワークセキユリテイ

株式会社

郡山市 会津営業所

福島トヨペット株式会社

本社

いわき市 株式会社

株式会社

白河市 株式会社

株式会社

白河市 株式会社

株式会社

株式会社

株式会社

株式会社

厚生労働省政策統括官表彰

〈統計調査員〉

受賞者二名(非公表)

福島市 菅野 宏美

小柴 俊男

真田 千夏

早田 克夫

村上 裕子

吉野 裕子

佐久間 一郎

竹山 統樹

安藤 光子

鈴木 志美子

松浦 芳明

大内 一郎

大内 繁

武田 哲男

渡邊 常夫

佐藤 金正

吾妻 誠

小山 洋子

菅野 久男

七海 末子

根本 光子

宗形 和子

柳沼 香利

大槻 陽子

小泉 斌治

白石 幸男

渡辺 盛雄

渡辺 由和

県南地域

白河市

鈴木 喜好

星野 敬子

森 健志

和知 守

稲本 和也

菊地 正

小林 成吉

鈴木 勝

田崎 正美

穂積 正徳

大竹 眞理子

齋藤 邦男

近藤 正博

矢吹 町

大竹 眞理子

齋藤 邦男

近藤 正博

会津地域

会津若松市

逸持 治秀貴

丸山 信夫

渡部 次男

小野 篤江

喜多方市

渡部 次男

小野 篤江

南会津地域

南会津町

高山 利一

芳賀 朝美

星 清次

星 トキエ

相双地域

南相馬市

齋藤 百合子

牧野 良仁

大倉 喜美子

大山 茂樹

坂本 良章

佐藤 金市

渡辺 實

いわき地域

いわき市

大倉 喜美子

大山 茂樹

坂本 良章

佐藤 金市

渡辺 實

吉田 日出夫

山内 幹子

一條 孝之

菅野 嘉吉

須賀川市

荒川 明子

他五名

須賀川市

荒川 明子

他五名

須賀川市

荒川 明子

他五名

須賀川市

荒川 明子

他五名

須賀川市

受賞者を代表して謝辞を述べる

田澤 憲郎さん



令和五年

叙勲受章

おめでとございます

長年にわたる統計調査への御功績により瑞宝単光章を四名の方が受章されました。(敬称略)

春の叙勲

叙勲(瑞宝単光章)

会津若松市

山内 幹子

いわき市

吉田 日出夫

秋の叙勲

叙勲(瑞宝単光章)

伊達市

一條 孝之

川俣町

菅野 嘉吉

統計調査功労

(各種統計調査員)

全国統計大会で
福島県の統計調査員が
表彰状を授与されました

十二月六日に東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで、第七十一回全国統計大会が開催されました。

全国統計大会は、「統計の日」の関連行事として、統計関係者が一堂に会して相互の交流と研さんを行い、統計及び統計制度の進歩発展と普及啓発に資することを目的として開催されています。

今年度は、福島県福島市の統計調査員である石山孝子さんが全国の総務大臣表彰受賞者の代表者として、表彰状を受け取りました。



第七十一回全国統計大会で
表彰状を授与される
福島市の 石山孝子さん

都道府県別
登録調査員研修を
開催しました

九月十四日に郡山市の青少年会館で開催された研修には、二十九名の登録調査員の参加がありました。

県統計課より統計調査の概要についての説明があった後、株式会社日本旅行の麓一美氏より「統計調査に必要な応接・マナーについて」の講義がありました。参加者からは、「身だしなみ、言葉遣い、服装に気を付けて行動する。」「目の運動は習慣化していく。」等の感想がありました。

※目の運動（目元のトレーニング）は、下に掲載しました。

最後に、参加した調査員で「調査を断られた時の方法」等をテーマに五、六人の班に分かれ、班別討議を行いました。班内では、活発な意見交換が行われ、「地道に声をかける。メモを残し、何度も訪問する。」「や「明るく・さわやかに・優しく心をかける。」といった内容の発表がありました。

お互いの悩みや実際にあった内容などを直に話し合うことができました。有意義な研修になりました。

都道府県別登録調査員研修
（班別討議）の様子



調査時のワンポイント

都道府県別登録調査員研修で教わり、好評だった「表情の重要性」を紹介します。

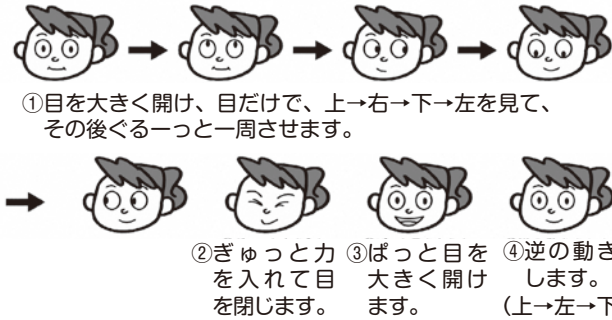
《笑顔のポイント》

目元：「目は心の窓」です。相手を穏やかに見ましよう！

口元：口角を上げる！心：ポジティブ思考で！

アイコンタクトはその人の存在を認知していることを伝えるメッセージです。確認するとき、同意を求めるときなど、相手の目を見るようにしましょう。

《目元のトレーニング》



①目を大きく開け、目だけで、上→右→下→左を見て、その後ぐるーっと一周させます。

②ぎゅっと力を入れて目を閉じます。 ③ぱっと目を大きく開けます。 ④逆の動きをします。(上→左→下→右)

都道府県別登録調査員研修 講義②「統計調査に必要な応接・マナーについて」から引用

令和六年度に行われる
統計調査を紹介します

《全国家計構造調査》

家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的としています。令和六年調査は第十四回目にあたります。

令和6年度統計調査事業一覧

実施主体	調査名	調査時期
総務省	労働力調査	毎月
	小売物価統計調査	毎月
	家計調査	毎月
文部科学省	学校基本調査	5月1日
	学校保健統計調査	4～6月
厚生労働省	毎月勤労統計調査	毎月
総務省	国勢調査	(試験調査6月) (調査区設定10月)
	全国家計構造調査	10～11月
農林水産省	農林業センサス	令和7年2月1日
総務省	経済センサス-基礎調査	実施(日程未定) (乙調査)
福島県	現住人口調査	毎月
	鉱工業指数調査	毎月

2024 福島県民手帳

県内52の観光施設や道の駅で使える
割引などの特典付き！

大好評
発売中!!



表紙色：紺
規格：8cm×14cm
252ページ
定価 770円(税込)



表紙色：黒
規格：8cm×14cm
252ページ
定価 770円(税込)

お申し込みは 福島県統計協会(電話 024-521-7143)

調査員のひろば

「統計調査に携わって」

長尾 良夫

(本宮市)



統計調査員の皆様様、地域の方々から厚い信頼を得て、長年統計調査業務に努めていられますこと、感謝申し上げます。

私は昭和六十年頃から冬の雪降る中での工業統計調査をスタートに、国勢調査のほか、様々な調査に携わりました。調査訪問に当たって、どうしても早く協力して頂けるか毎度工夫を凝らしております。

一つは、顔写真付きの調査案内書を用意して配布しています。案内書には「地区担当の長尾です。ご協力よろしく願います。お世話になります。」と記載しています。私にとって「お世話になります」は魔法の

言葉で、常に紙の上ばかりだけでなく、言葉でも表しています。

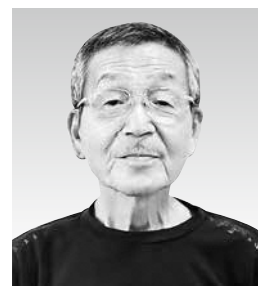
次に調査活動に当たっては、「常に足を運んで頭を低く根気よく」をモットーとし、笑顔と感謝の心を大切にして活動をしています。調査中では、「ご苦労様」「お茶どうぞ」などのお声をいただいたときは、心から嬉しいです。「ありがとうございます」「お世話になりました」の言葉をすぐに発してしまいます。

過日は郡山市のビッグパレット会場で新人統計調査員研修会の講師を務めたこと、福島大学会場で学生に統計調査員としての心得など、講師を務めたことなど、私の人生の忘れがたい思い出です。口下手な私の講話を皆様には真剣にお聞きくださいまして、誠にありがとうございました。今回の住宅・土地統計調査では遠方地域を担当しましたが、苦勞とせず、笑顔と感謝で努めました。

統計調査は国及び都道府県、市町村すべてに大切な指針になるものです。今後健康の許す限り協力して参りたいと思います。最後に統計調査員仲間の皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

鈴木 義光

(南会津町)



私が統計調査員になるきっかけは、当時、福祉関係の仕事に従事しており、地域住民との関わりが深くあった

のが、依頼されることになる始まりで、平成七年十月の国勢調査でした。

説明会に臨み、内容の説明を受け、書類作成の準備に入るも、担当地区内の把握、訪問調べ、書類の作成に相当の日数を要しました。調査依頼に訪問し快く引き受けてくれる方、不在居留守等で三〜五回程度訪問したこともありました。特に、アパート居住者について

では面談できず苦慮したことが思い出されま

す。調査活動中の問題点として、義務であることを内容説明しても、個人情報保護の意識が高まっている中、拒否する方が出てきており、特に自営業の方が増えています。本町は豪雪地帯であるので、冬期間の訪問調査はきびしいものがあります。調査票の回収について

て、当初は全件、調査員が訪問回収でありましたが、インターネット、郵送回答が可能となったため、若者の回答が多くなりつつある反面、高齢者の聞き取り調査が増えています。

今後、関係行政機関の基礎資料となる調査なので、自覚をもつて努力して行きたいと思えます。

大須賀 昇

(新地町)



十五年程前になりましたが定年退職を迎え、これから人生の後半を楽しまうと色々考えていました。ある方から「統計調査員が少し不足しているのでは手伝ってもらえないか」

とのお話が持ち掛けられました。初めて聞く名称でもあり…どの様な仕事の内容か…を聞いてみた所「用紙を配布して、後日回収すれば良い」と、いたって簡単なお話をされました。それ位なら…と

そのようななか、数件、また数社ですが、調査に対して個人情報

とか調査は無駄である等厳しい意見の洗礼を受けました。その様な事に対しての心構えもないため、その都度、役場担当者の意見を伺ったものでした。その後、先輩調査員との交流も増え、また、県の研修会に参加し、先生方のお話を聞くうちに、少し気持ちに「ゆとり」が出てきた気がしました。

また、こんな事もありました。回収用紙の表面に、目立つようにと赤色のペンで何月何日何時頃回収と記入し

ておいたところ「会社は赤字は嫌いです」と本当とも冗談とも付かないお話をされたので、その後は赤色ペンの使用は控えるようにしました。十年以上も前のお話ですが、今でも調査に出掛ける前の緊張した気持ちに変化はありません。

これからも、統計調査の重要性をお話し、更に理解して頂き、正確に記入して頂くようお話を続けて行きたいと考えています。